様式１：申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | （記入不要） |

**「NEDO懸賞金活用型プログラム/量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発/**

**NEDO Challenge, Quantum Computing“Solve Social Issues!”**

**に係る懸賞広告への応募申請書**

下記記載においては注意書き（青字）を削除の上、記入して下さい。

【応募手順】

1. 必要事項をこのファイルに記入し、Wordファイルをご提出ください。ファイルのサイズは10MBを超えないようご注意ください。
2. エントリー完了後、受付完了メールをご確認ください。

※各項目は、必要に応じて記入枠の大きさをご調整いただいても問題ありません。

※チェックボックスにチェックがつけられない場合、チェックボックスを削除し■を記入ください。

|  |
| --- |
| 応募申請書 |
| 提案名称（必須） | ※ご提案の内容を端的に表した名称を設定して下さい。（50文字以内） |
| 応募チーム名（必須） | ※応募者のチーム名を記載ください。スクリーニング後、スクリーニングを通過したチームの「応募チーム名」および「選択課題名」は専用サイトにて公開いたしますので、ご承知おきください。 |
| 選択課題（必須） |
| 選択課題ID | ※課題リストの中から取り組みたい課題を選択し、課題IDを記入ください。 |
| 選択課題名 | ※課題リストの中から取り組みたい課題を選択し、課題名を記入ください。 |
| 関連技術（必須） |
| 事務局より提供する計算環境を利用する際に活用する想定の量子技術を選択してください。※複数回答可 | [ ]  量子機械学習[ ]  量子シミュレーション[ ]  量子最適化[ ]  その他（※自由記述 ブラインド量子計算など） |

|  |
| --- |
| 提案の概要（必須） |
| 課題に関する認識・背景 | ※本提案の取り組み内容で解決目指す「社会課題」や「事業課題」について、課題リストの内容に追加で記載したいことなどを背景のサマリーを500字以内で記載してください。文章を補足する図表を１点まで入れても構いません。 |
| 課題解決に向けた技術課題 | ※本提案の取り組み内容で解決目指す「技術課題」を200字以内で記載してください。・上記の課題はどのような技術課題にブレイクダウンできるのか・「その技術課題は、なぜ現行技術では解決が困難なのか」などについて、説明してください。 |
| 研究開発内容の概要 | ※提案のサマリーを1000字以内で記載してください。文章を補足する図表を3点まで入れても構いません。・解決案の内容・アプローチ・開発する対象（開発予定のアルゴリズム/使用予定のアルゴリズムとその使い方、アルゴリズムの開発方法/ソフトウェア/ツールの用途・機能）・検証・実証方法（原理検証の可能性）・解決案の社会実装に向けたアイデア |
| 研究開発内容の量子有用可能性 | ※提案する解決案に対して量子コンピュータを利用することの有用可能性を200字以内で記載してください。 |
| 研究開発内容の新規性・独自性 | ※新規性・独自性に関する説明を200字以内で記載してください。アルゴリズムについて、新規性・独自性がある場合には、新規性・独自性がある部分について、記載ください。 |
| 実用化による技術・経済・社会への効果 | ※予定している開発を進めたことによる成果が社会全体への波及効果が期待できるものであることについて、500字以内で記載してください。文章を補足する図表を1点のみ入れても構いません。 |
| 研究開発の体制※本項は審査委員・事務局からのアドバイス・サポート等検討のために活用し、提案の評価に一切影響しません。 |
| ※研究開発におけるメンバーの役割と関係性について整理して示してください。例：量子ソフトウェア技術者１名、機械学習技術者１名 |
| 実施スケジュール（必須）※本項は審査委員・事務局からのアドバイス・サポート等検討のために活用し、提案の評価に一切影響しません。 |
| ※スクリーニング通過後から最終審査まで(2025年7～2026年6月)で開発するためのスケジュールを記載してください。 |

【記入にあたっての留意点】

・別の書式での提出は認められませんので、ご注意下さい。

・「提案の概要」にある注意書き（青字）を削除の上、記入して下さい。

・フォントは原則MSPゴシック、11ポイントとしますが、図表中の文字等についてはこれに限りません。

・各項目において、要点を簡潔に記載して下さい。

・各項目は、必要に応じて記入枠の大きさの調整を行って下さい。